

## 新バージョン XooNIps ver.3.30 の紹介

---

独立行政法人 理化学研究所  
脳科学総合研究センター  
神経情報基盤センター  
奥村嘉宏

## XooNIps 3.30 リリース

---

- XooNIpsの新しいバージョン3.30 を正式にリリースいたしました。2007/7/2
    - 今年度4月よりXooNIpsの機能拡張などの保守・運用サポートについて神経情報基盤センター(NIJC)が担当となり開発を進めてきました。
  
  - 新バージョンでは XooNIps を利用する上での使い勝手の向上および重大なセキュリティの修正がなされています。
    - 旧バージョンを利用されているかたはアップデートをお勧めします。
-

## 旧版3.24からの主な変更点

---

- ユーザ登録ワークフローの見直し
  - OAI-PMH リポジトリのセット対応
  - イベントログのグラフ可視化
  - XooNips管理画面の全面改訂
  - システム設定チェック機能の追加
  - アイテム一括処理の追加
  - ファイルダウンロード時のライセンス同意画面の強化
  - アイテム詳細画面における URL の固定化
  - Proxy 設定の追加(OAI-PMH ハーベスタ, PubMed補完, Amazon補完)
  - アイテム一覧画面における下層インデックスツリーの表示
  - SEO 対策コードの追加
  - XML-RPC API の実装
  - ロゴアイコンの更新
  - その他(累積的なバグおよびセキュリティ問題の修正)
- 

## ユーザ登録ワークフローの見直し

---

- ユーザが新規にアカウントを取得する際、設定によっては実際の動作と異なるメッセージが表示されていた



- 設定に応じて適切なメッセージが表示されるようになった
-

## OAI-PMH リポジトリのセット対応

- XooNIPS の OAI-PMH リポジトリ機能にはセットが実装されていなかった



### セットの実装

- 公開インデックスの構造
- インストールされているアイテムタイプ

- リポジトリの内容区分をハーベスタに伝えることができ、高度なデータハーベストが可能
  - ListSets 応答
  - ListIdentifiers・ListRecords・GetRecord のセット情報 応答
  - ListIdentifiers・ListRecords の set 引数 応答

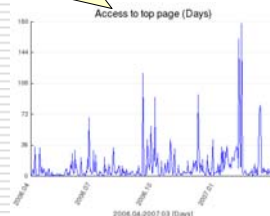
## イベントログのグラフ可視化

- モデレータによるサイトのアクセス履歴の集計
  - イベントログを全てダウンロードし、他のツールを用いてイベントごとに解析



Visiome Platform トップページ  
アクセス回数(2006年度)

- イベント別に期間を指定しグラフ化
  - トップページへのアクセス回数
  - アイテムへのアクセス回数
  - アイテムのダウンロード回数
  - 新規ユーザ数および新規アイテム数



## XooNips管理画面の全面改訂

---

- 管理画面における各設定が煩雑で分かりにくい
  - どこでどの設定を施せばよいのか？
  - どのような設定項目があるのか？



- 管理画面の各設定項目を目的別に整理
    - システム設定
      - 管理者が XooNips の動作について設定を行うための画面
    - サイトポリシー設定
      - モデレータがサイト立ち上げ時にサイトの運用方針を設定するための画面
    - メンテナンス
      - サイト運用中にアカウントの情報などをメンテナンスするための画面
- 

## システム設定チェック機能の追加

---

- XooNipsが動作するために必要なシステムの設定が施されているか確認する術がない
  - システムの誤動作に繋がっていた



- 管理画面から設定状況を確認できるようになった
-

## アイテム一括処理の追加

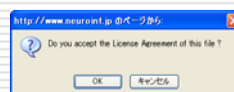
- サイトのメンテナンスのために公開データを一括で入れ替える場合
  - データの入力はインポート機能を用いて処理可能
  - データの削除ができない



- アイテムの一括削除
- 公開アイテムの一括取り下げ

## ファイルダウンロード時のライセンス同意画面の強化

- ファイルをダウンロードする際、どのようなライセンスに対して同意を促しているか分かりにくい



- ライセンス情報を表示し、より具体的条件にて合意してもらうようにUIを改良



## アイテム詳細画面における URL の固定化

---

- アイテムの詳細画面におけるURLは、システムがデータ登録時にアイテムIDを付与したものを利用
  - サイトのメンテナンスなどでデータを入れ替えた際、同じデータでも異なる URL となる

[http://xoonips.neuroinf.jp/modules/xoonips/detail.php?item\\_id=8](http://xoonips.neuroinf.jp/modules/xoonips/detail.php?item_id=8)



- サイトで一意的なアイテムのIDをユーザが任意に付加できる機能を実装
- この一意的IDを用いてアイテムへの直接アクセス可能に
  - データを入れ替えた場合でも URL は不変

<http://xoonips.neuroinf.jp/modules/xoonips/detail.php?id=XOONIPS001>

---

## Proxy 設定の追加

---

- 大学・企業などの内部ネットワークで、セキュリティ対策が厳しく外部のサイトに接続するためには Proxy の利用を必須としていた場合、一部の機能が動作しない
  - OAI-PMH : ハーベスタ
  - Paper : Pubmed ID補完
  - Book : ISBN 補完



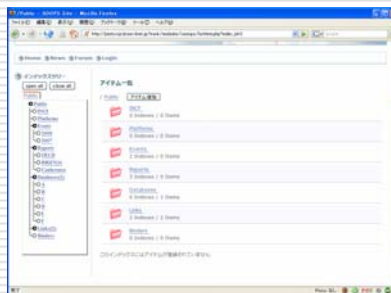
- 外部サイトの情報を取得する際、Proxy を設定できるように
-

## アイテム一覧画面における 下層インデックスツリーの表示

- インデックスを選択した際、下層インデックスが存在するにも関わらず、そのインデックスにアイテムが登録されていない場合、アイテムが何もないように見えるため混乱を招く



- アイテムの一覧の中に下層インデックスの一覧を表示
  - より直感的に利用可能



## SEO 対策コードの追加

- サーチエンジンの検索結果では、全てのアイテムが同じタイトルのため異なるアイテムとして判断されない
- サーチエンジンのロボットがファイルをダウンロードできない



- ブラウザのタイトル
  - アイテム一覧表示
    - インデックス名を表示
  - アイテム詳細表示
    - アイテムのタイトルを表示
- ファイルのダウンロード
  - サーチエンジンのロボットが自動的にファイルを収集
    - ライセンス情報の同意が必要ない場合に限る

## XML-RPC API の実装

---

- XooNlpsはウェブブラウザを介した利用しかできない
  - ユーザの XooNlps を利用することに対するモチベーションの低下



- 異なるUIを持つ外部システムを用いて XooNlps をリモート操作できるよう XML-RPC API の実装
    - クライアント用に Java クラスライブラリを開発中
  - クライアント例
    - Concierge (<http://concierge.sourceforge.jp/>)
- 

## ロゴアイコンの更新

---

- XooNlps本体



- アイテムタイプ





## その他

---

- HTML書式違反の修正
  - セキュリティ対策
    - Session Fixation 対策
      - ログイン時にセッションを再生成
      - session.use\_only\_cookies が有効の設定を推奨
    - allow\_url\_fopen が無効でも動作可能
      - 有効だとセキュリティホールにつながりやすい
    - サニタイズの強化
  - ブロック幅のリサイズ
    - XooNIps モジュールと共に配布しているテーマ (XooNIps-III)にブロック幅を変更できる機能を追加
- 

## アップデートについて

---

- 3.30 へのアップデート作業は、必ず旧バージョンである 3.24 から行ってください。
  - 3.24以前のバージョンの場合、一旦 3.24 にアップデートしてください。

- サポート体制の強化
    - ~~開発途中のバージョンをCVSから取得して利用してください~~
    - 問題に対する修正バージョン番号を厳密に付け、リリースする予定
-

## 謝辞

---

- 本バージョンを開発・公開するにあたり、慶應義塾大学メディアセンター本部の皆様には、  
慶應義塾大学学術情報アーカイブ(KOARA)  
<http://koara.lib.keio.ac.jp/>  
において実装された XooNIps の機能追加・強化に関する貴重なソースコードを提供して頂きました。
  - これらは 3.30 における新しい機能として組み込ませて頂きました。
-